

周防大島町の話題

周防大島町×株式会社さとゆめ 地域活性化起業人に関する協定締結式



▲右から株式会社さとゆめ 浅原武志取締役ＣＯＯ、周防大島町初となる地域活性化起業人の西日本伴走本部 第二チーム アシスタントコンサルタント山田朋子さん

地域活性化起業人調印式

9月1日、大島庁舎で地域活性化企業人に関する協定締結式が行われました。

地域活性化起業人制度は、都市部に所在する企業等と地方圏の地方自治体が協定書に基づき、社員を地方自治体に一定期間派遣し、地域課題に対し社員の専門的なノウハウや知見を活かしながら即戦力人材として業務に従事することで、地域活性化を図る取組です。

この度、株式会社さとゆめと協定を結び、山田朋子さんを派遣いただきました。今後、山田さんには政策企画課で、周防大島町の将来を考えるシンポジウムの開催に向け、関係機関との調整などにご尽力いただく予定です。

ぶちやっちゃんプロジェクト

9月18日、大島庁舎で周防大島町の課題について考えるワークショップが開催されました。

これは、周防大島町大学等連携地域活性化事業補助金を活用した、国立大学法人横浜国立大学の学生有志13人による「ぶちやっちゃんプロジェクト」の一環で行われました。

ワークショップでは、地域おこし協力隊や移住の現状と課題に対する意見交換や、移住をした人へのヒアリング、さらに提案された「短期の支援付き宿泊体験」の実現可能性などに関して活発な意見交換が行われました。



▲学生たちからは、移住サポーターの梅田美知朗さん（飲食店経営）にもたくさんの質問が飛び交いました



▲なぎさ水族館学芸員 内田博陽さんによる生き物観察の様子

きれいな水辺を守る

9月20日、横見の周防大島町 B&G 海洋センター 艇庫で「2026 B&G 海ごみゼロ SUMMER」と「B&G マリンフェスティバル」が開催されました。

当日は、約100人の参加があり、艇庫周辺の海岸清掃や舟艇からの海上清掃を行いました。さらに、きれいになった水辺での磯観察では、さまざまな生き物を採取し観察を行い、参加者は楽しみながらも水辺の環境保全を改めて意識する場となりました。

最後には、カヌーやSUPなどのマリンスポーツを楽しみ、会場は笑顔に溢れていました。